

洪水情報のプッシュ型配信を活用した避難訓練及び学習会の実施について

四万十川大規模氾濫に関する減災対策協議会

○近年甚大化、多発化する洪水災害に備えるため、四万十市の中村地区で平成28年5月に公表した想定最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域及び防災気象情報に関する学習会を開催しました。

○また、学習会に先立ち、本年5月1日から四万十川において運用を開始した洪水情報のプッシュ型配信を活用した避難訓練を四国で初めて実施しました。

- ・実施日時 : 平成29年6月11日(日)
10:00~12:00
- ・避難訓練 : 四万十市(中村地区)
- ・学習会会場 : 四万十市立中村南小学校体育館
- ・参加者数 : 総参加者 100名(中村地区住民、消防団中村分団、四万十市防災士会)
- ・報道関係 : 高知新聞社

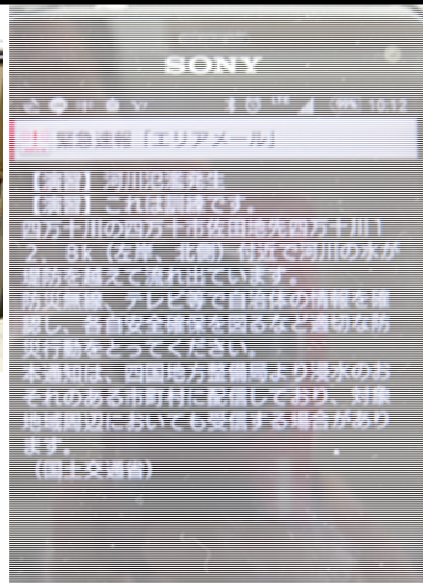
○学習会では、市民から、「(今回の訓練で)防災行政無線が聞き取れなかった」「避難所はいつ開設するものなのか」などの質問がありました。

メール配信訓練及び勉強会開催の事前周知

- ・広報しまんと5月号(4月26日配布)、6月号(5月31日配布)への掲載
- ・高知新聞への掲載(6月8日朝刊)
- ・防災無線による周知(6月11日/訓練、勉強会の前日及び当日)



緊急速報メール配信操作の様子



緊急速報メールの着信画面



避難訓練の状況



学習会の様子